

令和元年度 授業改善推進プラン<音楽科>

●音楽科における昨年度の授業改善推進プランの検証

生徒の歌唱活動に対する気持ちは基本的には前向きであるが、学年相応の歌唱・合唱技能が伴っていない実態がある。学校行事に対しての意欲的な取り組みと並行しながら、段階に応じた具体的な到達目標を明示し、生徒自身が主体的に練習に取り組む活動を充実させ、きめ細やかに評価を返していく必要がある。

器楽においては3年間を通じて系統的に実践していく必要がある。今年度よりアルトリコーダーを1、2年生は導入し、演奏技能だけでなく、合唱活動にも関わる和声感を育む2声アンサンブルまで計画的に行っていく。

鑑賞は鑑賞教材も不足しており、機材も不十分である実態を改善して行く必要がある。教室の大きさと音響設備のアンバランスを解消して、生徒の感性に響く音響的な環境を整えていく。

●音楽科における分析と課題

歌唱活動においては、生徒一人一人が具体的な目標意識をもって練習に取り組むことに加え、パートリーダーによる主体的な練習の形を作る必要がある。全体的には合唱コンクールへの取り組みには意欲的であるが、伴奏者が安定した演奏でクラスの合唱を支えていけるシステムが作られていない。

歌唱指導をクラスによっては担任が行っている学年もあり、音楽を作り上げる練習の積み重ね、行事の目的である協力性や思いやりを育むためにも、練習場所や時間の設定を生徒の実態に合わせて改良していかなければならない。さらに「聴く」「聴き取る」「聴き比べる」力を育むためには、継続的にリスニングテストを行っていくことも重視したい。

●音楽科における授業改善の具体的な取り組み

第1学年

- ・ 授業規律の確立…忘れ物・遅刻・私語への注意・指導、迅速な準備への指導・助言、挨拶の指導、学習に対する発言力の指導
- ・ 正しい歌唱法……姿勢・発声の注意、口の開け方の指導
- ・ 高い表現力……音楽のフレーズや歌詞の内容を理解した表現の工夫への指導、大勢の前で表現する(パフォーマンス)、歌う楽しさを学ぶ
- ・ 楽典の理解……楽譜の見方、階名、強弱・速度・演奏上の記号の指導
- ・ 楽器の正しい取り扱いについて。マナーについて。正しい運指。

第2学年

- ・ 集中力の強化……授業規律の確認、プリント学習
- ・ リーダー養成……自主的なパート練習の確立への助言・指導
- ・ 集団力を高める…パート練習の個別評価、集団の中での「個」としてのパフォーマンス力を高める
- ・ 楽典の理解……階名、強弱・速度・演奏上の記号の指導
- ・ 楽器の正しい取り扱いについて。マナーについて。正しい運指。
- ・ 豊かな音色で曲想を感じながら器楽演奏を行う。

第3学年

- ・ 授業規律の強化…自主的に授業規律できる生徒の指導
- ・ 個人能力の強化…パート練習の個別評価・助言・指導、
- ・ リーダー養成……自主的なパート練習の確立、および全体指導への助言・指導
- ・ 楽典の理解……プリント学習による階名、強弱・速度・演奏上の記号の理解、表現の工夫への助言・指導
- ・ 表現力を高めるための指導点…カンタータ「土の歌」の全曲鑑賞。楽曲が生まれた背景。

作曲者の意図への理解や演奏につなげる考察のためのレポート作成

